

ウェルビーイングに基づく政策デザイン（WBPD）習得のための
「WBPD OASIS プログラム」のご案内
（ガバメントコース）

2024年4月

一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）



Smart City
Institute Japan

「WBPD OASIS プログラム」立ち上げの経緯

- スマートシティの推進にあたっては、DX・脱炭素時代に相応しい新たな都市像を描き、市民、企業、大学、NPOなど多様なステークホルダーを巻き込みながら、課題設定、事業計画、技術を含む、政策プログラム全体をリードする「アーキテクト（地域経営人材）」の存在が必要不可欠といわれています。
- さらに、「デジタル田園都市国家構想」においては、スマートシティ・まちづくりの最終目的は「市民のWell-Beingの実現」であると謳われており、この中長期的な目標を明確にしたうえで、その実現に向けてさまざまな政策をデザインし、実践していくことが重要となります。
- こうした課題認識の下、一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）では、ウェルビーイングに基づく政策デザイン（Well-Being-Based Policy Design（WBPD））を習得するための研修プログラムとして、「**WBPD OASIS プログラム**」を立ち上げることにしました（以下4コースを設定）。
 - A 「**WBPD OASIS プログラム（ガバメント）**」 ～自治体職員向け
 - B 「**WBPD OASIS プログラム（ビジネス）**」 ～民間企業向け（ビジネスモデル創出目的）
 - C 「**WBPD OASIS プログラム（エグゼクティブ）**」 ～自治体首長・民間企業役員～部長クラスまでの幹部向け
 - D 「**WBPD OASIS マスタープログラム**」 ～ WBPD OASIS Practitioner 資格保有者（A、Bの受講修了者）向け
- この「OASIS研修」は、SCI-Japanが別途実施するスマートシティ推進人材育成のための「City-Region MAPプログラム」の上位プログラムとして位置付け、WBPDの習得に特化した**より高度、より実践的なプログラム**となっております。

「WBPD OASIS プログラム」 一覧

| コース名 | 対象者／定員 | 受講期間／プログラム概要 | 受講料（税込） |
|-------------------------------|---|--|---|
| WBPD OASIS ガバメント | <ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体職員 ● 総合政策・スマートシティ・まちづくりの推進に関わる部署のマネジメント～中堅層 ● 20名まで | <ul style="list-style-type: none"> ● 月1回、計6か月（原則） ● 90分（講義、事前課題の発表、グループディスカッション）×6回 ● 毎回、事前課題（個人ワーク）有 | <ul style="list-style-type: none"> ● 1団体／50万円（55万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途 <p>※相乗り参加の場合 民間：1名／40万円（44万円） 大学、NPO：1名／20万円（22万円）</p> |
| WBPD OASIS ビジネス | <ul style="list-style-type: none"> ● 民間企業役職員 ● スマートシティ・まちづくりにおけるビジネスモデルの創出に関わる部署のマネジメント層～中堅社員（部課長） ● 20名まで | <ul style="list-style-type: none"> ● 受講期間、講義回数、事前課題等は、上記と同じ ● 「WBPD OASIS ガバメント」を基本としつつ、民間企業によるビジネスモデルの創出を目的に一部内容をアレンジ | <ul style="list-style-type: none"> ● 1社／400万円（440万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途 |
| WBPD OASIS エグゼクティブ | <ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体、民間企業 ● 自治体の首長（民間企業担当役員）～部長級までの幹部職員向け ● 20名まで | <ul style="list-style-type: none"> ● 1回／90分 ● 以下の3項目に関する集中講義 ①ウェルビーイングの概要、②地域幸福度指標の概要、③政策デザインやビジネスモデルデザインの概要 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体 1団体／15万円（17.5万円） ● 民間企業 1社／30万円（33万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途 |
| WBPD OASIS マスター | <ul style="list-style-type: none"> ● WBPD OASIS Practitioner 資格保有者（OASISガバメント or ビジネスの受講修了者） ● 10名程度 | <ul style="list-style-type: none"> ● 月1回、計4か月（原則） ● 90分（講義、ケース、ディスカッション等）×4回 ● 毎回、事前課題（個人ワーク）有 ● プロジェクト実践レポート2件（審査有） | <ul style="list-style-type: none"> ● 地方自治体 1団体／50万円（55万円） ● 民間企業 1名／50万円（55万円） ● 講師の出張交通費・宿泊費は別途 |

A 「WBPD OASIS プログラム（ガバメント）」（自治体向け）の概要

- 名称：「WBPD OASIS プログラム（ガバメント）」（自治体向け）
- 講師：SCI-Japan専務理事 南雲 岳彦
- 研修内容：詳細は後掲
 - 90分（講義、事前課題の発表、グループディスカッション）×6回のプログラム
 - 毎回、事前課題（個人ワーク）を行っていただきます
- 開催頻度：月1回程度（約6か月のコース）
※事前課題の作業時間を考慮し、月1回頻度の開催をお薦めしております
- 開催日時：申込団体にて決定（事前に講師と調整のうえ）
- 開催場所：申込団体の会議室等（申込団体側で確保してください）
- 定員：20名まで（受講者の選定は申込団体にお任せします）
- 受講対象：総合政策・スマートシティ・まちづくりの推進に関わる部署のマネジメント層～中堅社員（部課長）
- 目指すゴール：WBPDの実践者として活躍できるレベル（詳細は別紙の通り）
- 申込受付：随時受付（自治体単位での申込となります）

A「WBPD OASIS プログラム（ガバメント）」（自治体向け）の概要

- 費用（税抜）：**50万円**（随意契約を想定）
 - ※自治体を支援する民間企業等が受講する場合、以下の受講料を頂戴します
 - 民間企業：1名／40万円（税抜）**
 - 大学、NPO：1名／20万円（税抜）**
 - ※1都3県（神奈川、千葉、埼玉）以外での開催の場合には、講師の交通費・宿泊費（実費）を別途請求します
- 修了要件・資格付与：以下の要件をクリアした受講者に「**WBPD OASIS Practitioner**」（実践者レベル）の資格を付与
 - ①全6コマの研修に参加（基礎理論・手法）、②プロジェクト実践レポートの提出（審査あり）
 - なお、上位資格である「**WBPD OASIS Master**」（指導者レベル）を取得するためのプログラムを別途提供
- 資格ホルダー・受講者のコミュニティ：
 - オンライン：資格保有者・受講者が参加するオンラインコミュニティ（Slack）を立ち上げ
 - リアル：SCI-Japan主催のイベントへの招待、OASISメンバーに特化したイベントの開催
- アワード実施：OASISモデルに沿って立案され、市民の幸福度を高めた政策に対する年次アワードを実施予定
- 主催：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート（SCI-Japan）

Well-Being-Based Policy Design (WBPD) とは

- WBPDとは、「実践の手法」である。主観・客観の両データの有効性と限界を理解の上、価値観や倫理観、目的と文脈といった定性的な情報を加味し、市民の幸福感や暮らしやすさの実感を向上させることを目指す政策立案手法である。



どのようにして、自治体が地域幸福度 指標を活用するための能力を開発するか？

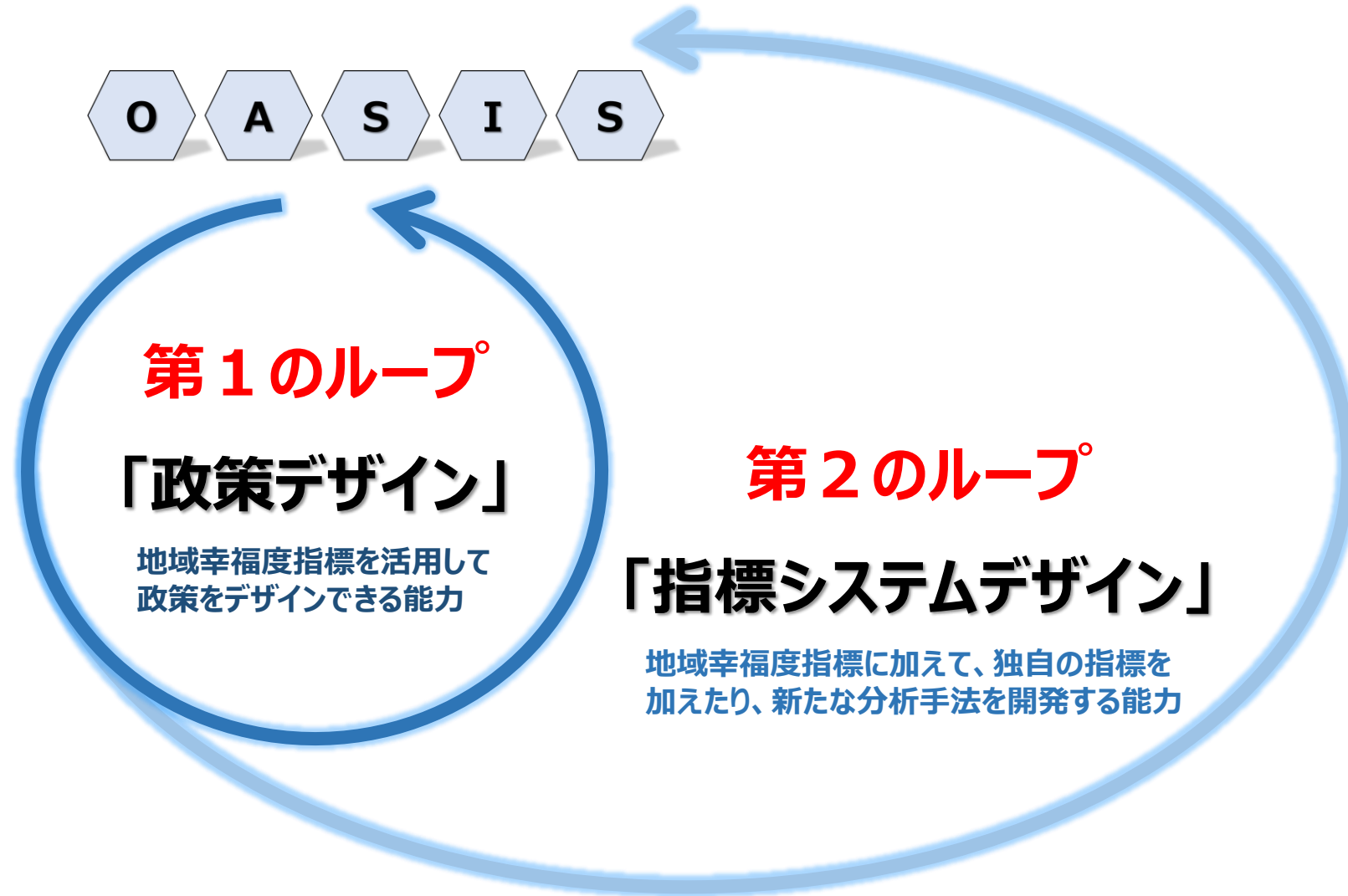
(例：総合計画策定への反映)

ウェルビーイング
概念の理解

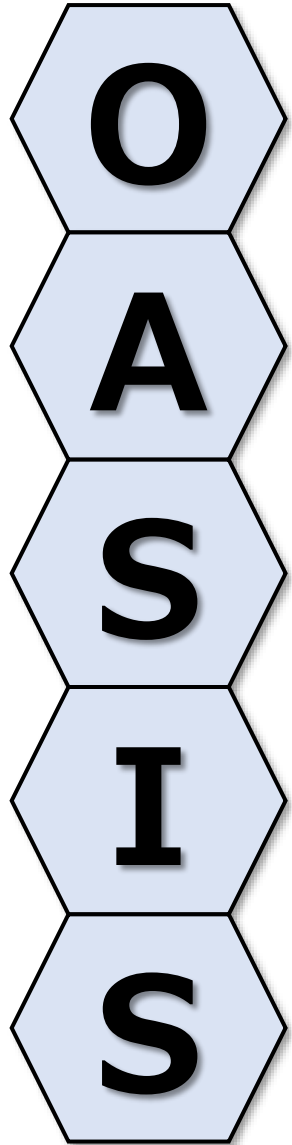
ウェルビーイング
指標の理解

ウェルビーイング
政策デザイン手法

自治体におけるウェルビーイング指標に基づく政策デザイン能力をダブルループで開発する



OASIS研修の基本設計（5つの標準ステップ）



Overview = 大きく目を開いて地域社会を俯瞰する

Analyze = データを分析してフォーカスを見つけ出す

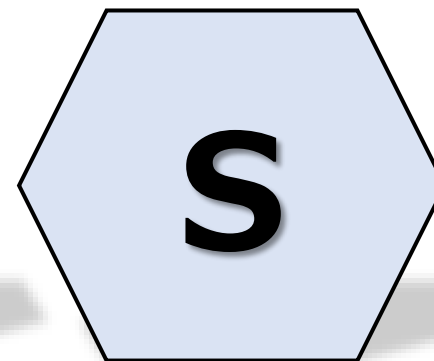
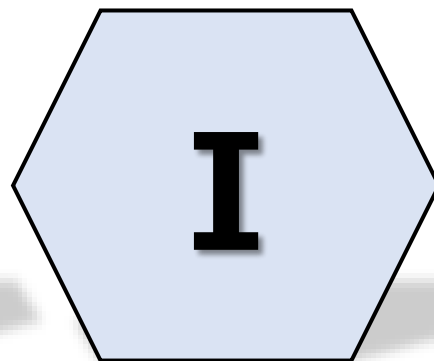
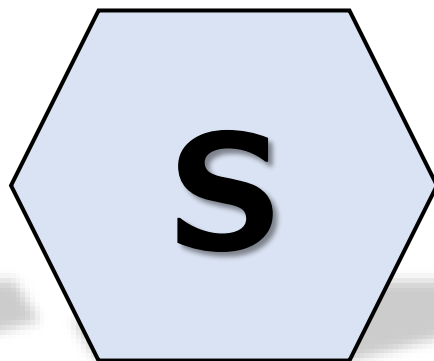
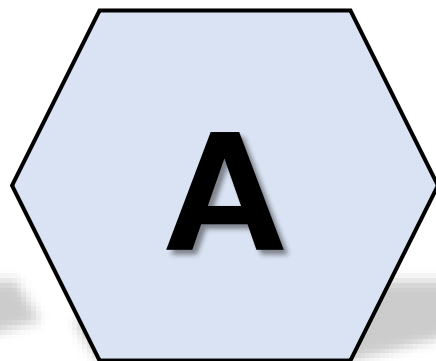
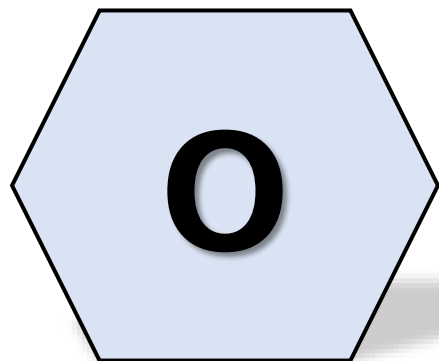
Solve = ウェルビーイングを高める政策をデザインする

Impact = 工夫を重ねてソーシャルインパクトを導き出す

Share = 良い結果も悪い結果も、広く社会に共有する

OASIS研修（ガバメント）の標準カリキュラム

1回90分×6回の講義 + 宿題（約6か月）で構成。最終回では首長あてのプレゼンを予定



講義 1・2

- ウェルビーイングとは
- 各種分析手法
- 内外の先進事例
- 内閣府等の既存データの紹介
- 日本人の幸福観と文化特性

- **ディスカッション**

講義 3

- 地域幸福度指標
- 主観×客観マトリクス
- 相関分析
- 認知バイアス
- 統合マップ作成
- ロジックツリー作成

- **ディスカッション**

講義 4

- 将来シナリオ作成
- バックカスティング
- 政策ゴール設定
- インパクトの考え方
- ロジックモデル作成
- ファイナンス（SIB）

- **ディスカッション**

講義 5

- 全体統合（宿題①～⑥を統合し、最終発表資料を作成）

- **ディスカッション**

講義 6

- 首長あてプレゼン

1. ウェルビーイング分析結果
2. ウェルビーイング政策領域の選択
3. ペルソナ別の政策目標・内容
4. 市固有の追加アンケート・KPI、及び分析手法

アサイメント 1

- **宿題①（幸福度指標システム）**
- **宿題②（主観×客観分析）**

アサイメント 2

- **宿題③（統合マップ）**
- **宿題④（ロジックツリー）**

アサイメント 3

- **宿題⑤（バックカスティング）**
- **宿題⑥（ロジックモデル）**

アサイメント 4

- **宿題⑦（①～⑥の統合とブラッシュアップ）**

アサイメント 5

- **宿題⑧（最終発表資料の提出）**

OASIS研修を通じて習得を目指す事項⇒「ローカル・チャンピオンの育成」

1. ウェルビーイングの概念を理解し、自分の言葉で人に説明できるようになる。
2. 日本や海外の代表的なウェルビーイング指標や分析手法に関する知識を獲得し、自らの自治体での導入に向けた基本的な意見やスタンスを持てるようになる。
3. 地域幸福度（ウェルビーイング）指標を活用し、地域の重要なウェルビーイング因子を見つけ出せるようになる。
4. ロジックツリーやロジックモデルを使い、幸福感や生活満足度を高めるための政策をデザインできるようになる。
5. 自分の自治体により適したウェルビーイング指標システムをデザインできるようになる。

■ 技能認定制度（民間資格）

① WBPD OASIS Practitioner（実践者レベル）

- ◆ 6コマの研修参加（基礎理論・手法）
- ◆ プロジェクト実践レポートの提出（審査あり）

② WBPD OASIS Master（指導者レベル）

- ◆ 10コマ（①を含む）の研修参加（基礎＋応用理論・手法）
- ◆ プロジェクト実践レポート2件（①を含む）の提出（審査あり）
- ◆ Practitioner取得後、残りのコマを受講し、Master取得も可能

■ OASIS研修受講者・資格ホルダーによるコミュニティ

① オンライン

- ◆ オンラインツール（Slack）を使って、常時繋がれるスペースを立ち上げます。
- ◆ 地理的な距離や立場を超えて、気軽にコミュニケーションしましょう。

② リアル

- ◆ SCI-Japanのイベント時やOASISメンバーに特化したイベント時に、リアルで繋がりましょう。



各地でのOASIS研修の様子～「ウェルビーイング」が**共通言語**になっていく

